

物価高騰に関して、全国968名の学生へアンケート！

物価高対策 携帯代は変わらず

3割近くが「外食」、「家での食事」を抑制

特定非営利活動法人ドットジェイピー
理事長 佐藤大吾

NPO法人ドットジェイピー（以下、ドットジェイピー）は、『若年投票率の向上』を目的に、学生を対象に議員事務所や官公庁にて政策立案過程や行政について就業体験を積む「インターンシッププログラム」（議員・首長インターンシップ）を提供しております。ドットジェイピーは、全国の学生スタッフを中心となって活動している団体で、インターンシッププログラムと並行し定期的に学生を対象とした意識調査も実施しております。

この度、近日問題となっている物価の高騰に関して、全国968名の学生にアンケートを実施致しましたので、その結果をここにお知らせ致します。

アンケート調査概要

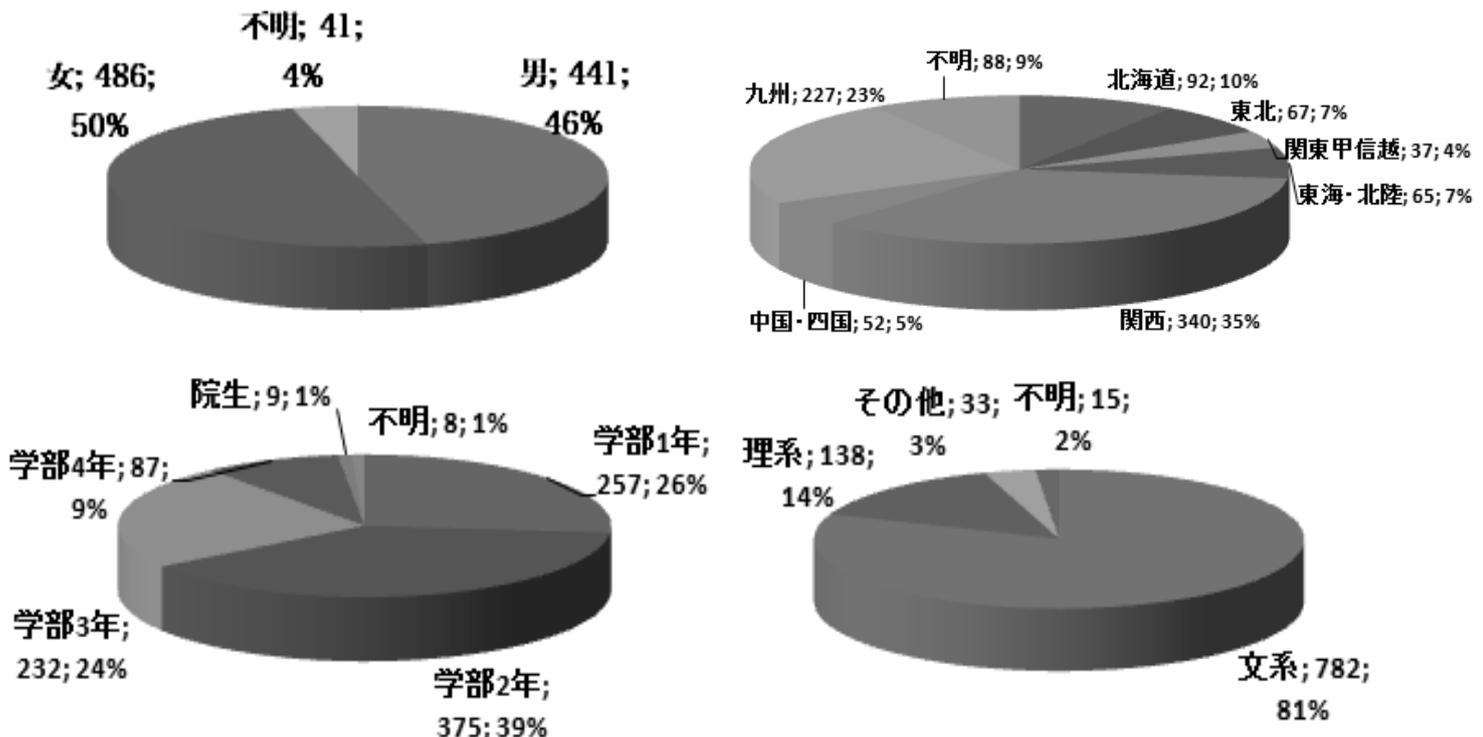
期間：2008年8月12日～9月2日

対象：全国の学生 968名

目的：物価高騰に対する若者の意見を社会に届けるため

方法：ドットジェイピーの学生スタッフの広報による紙媒体での回収、WEBアンケートの実施

回答者データ（左上：性別、右上：地域、左下：学年、右下：学部）



アンケート質問項目

- ガソリンの価格が上がっていますが、車やバイクなどの利用頻度は変わりましたか？
- 最近の物価高を受けて、あなたの生活の中で一番圧迫しているものは何ですか、【1つ】お答え下さい。
- 問2で『その他』を選ばれた方にお聞きします、何が一番圧迫していますか、よろしければお答え下さい
- 問2において「食料品」を選ばれた方にお聞きします。食料品の中で一番圧迫しているものは何ですか、【1つ】お答え下さい。
- 物価高のために、節約をしているものはありますか、あてはまるもの【すべて】をお答え下さい。
- 問5で『その他』を選ばれた方にお聞きします、何を節約していますか、お答え下さい。
- あなたの節約術をお答え下さい。

- 問8. ところで、今年(2007年8月~2008年8月現在)の出費の中で、一番高額だったものは何ですか。
 問9. 問8でお答えいただいたものはいくらですか、お答え下さい。
 問10. 問8で『その他』を選ばれた方にお聞きします。何が一番高額でしたか、お答え下さい。
 問11. 一人暮らし、下宿の方にお聞きします、仕送りの額は一年前に比べて減りましたか？
 問12. 物価高の影響を感じている方にお聞きします。生活費にどれほどの不足を感じていますか？
 問13. 物価高の原因は何だと思えますか。
 問14. 問13で『その他』を選ばれた方にお聞きします、何が原因だと思えますか、お答え下さい。
 問15. 今年、物価高に対し政府はなんらかの対策をとるべきですか。
 問16. 問15で『その他』を選ばれた方にお聞きします、政府はどうするべきですか、お答え下さい。

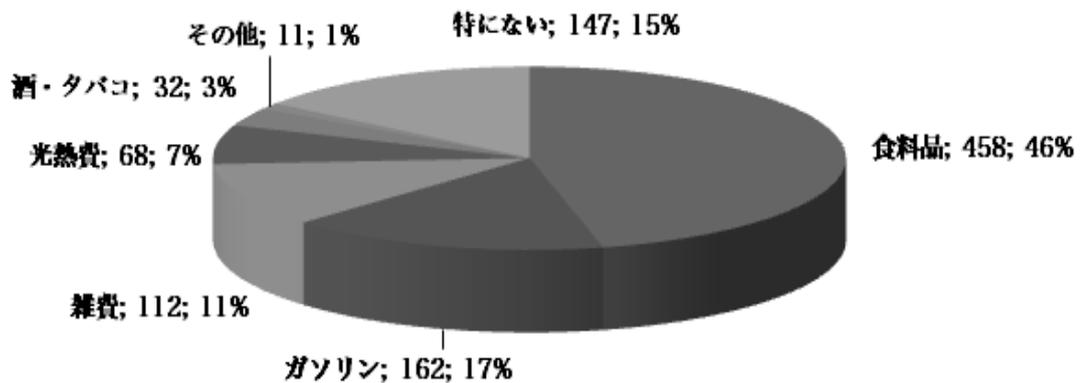
アンケート調査結果概要

問2. 最近の物価高を受けて、あなたの生活の中で一番圧迫しているものは何ですか。

生活が圧迫されている 85%！一番圧迫しているもの「食料品」46%！！

「圧迫しているものは特になし」と回答した人は15%であり、全体の85%が物価高により生活が圧迫されていると考えられる。一番回答を多く集めたのは「食料品」の46%。次は「ガソリン」の16%だった。元気の源である『食』が圧迫されていることに注目したい。

	人数(人)
食料品	458
ガソリン	162
雑費	112
光熱費	68
酒・タバコ	32
その他	11
特になし	147



問5. 物価高のために、節約をしているものはありますか、あてはまるもの【すべて】をお答え下さい。

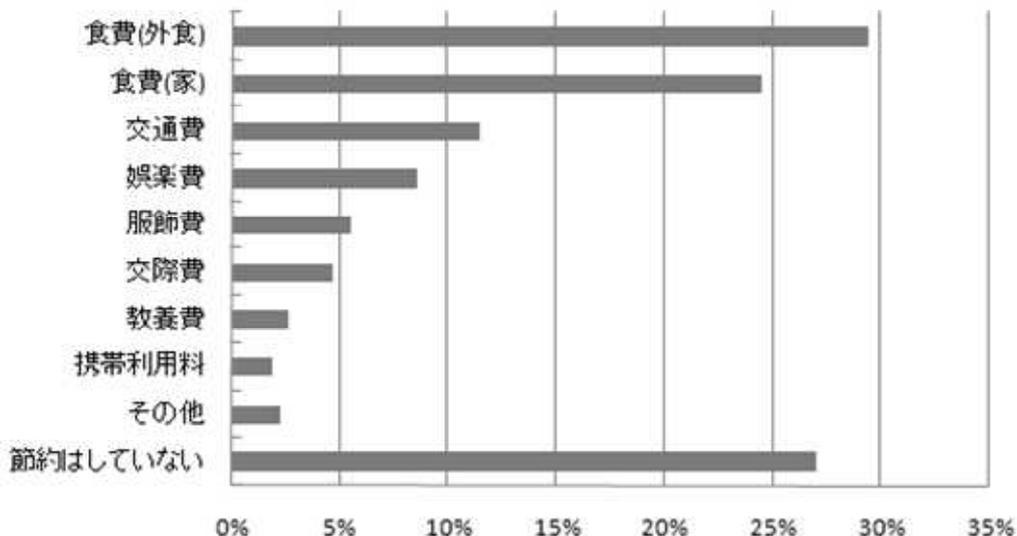
問6. 問5で『その他』を選ばれた方にお聞きします、何を節約していますか、お答え下さい。

物価高対策 食費節約 約30%

何も節約をしていないのは全体の27%にすぎず、73%が何らかの節約をしている。

3割近くが「外食」、「家で食事」と「食費」を選び、「交通費」、「娯楽費」、「服飾費」がそれに続いた。若者は、食費を節約しても、友人とのコミュニケーションツールである携帯電話利用料を抑えることはしないらしい。

	人数(人)
食費(外食)	285
食費(家)	237
交通費	111
娯楽費	83
服飾費	53
交際費	45
教養費	25
その他	22
携帯利用料	18
節約はしていない	261

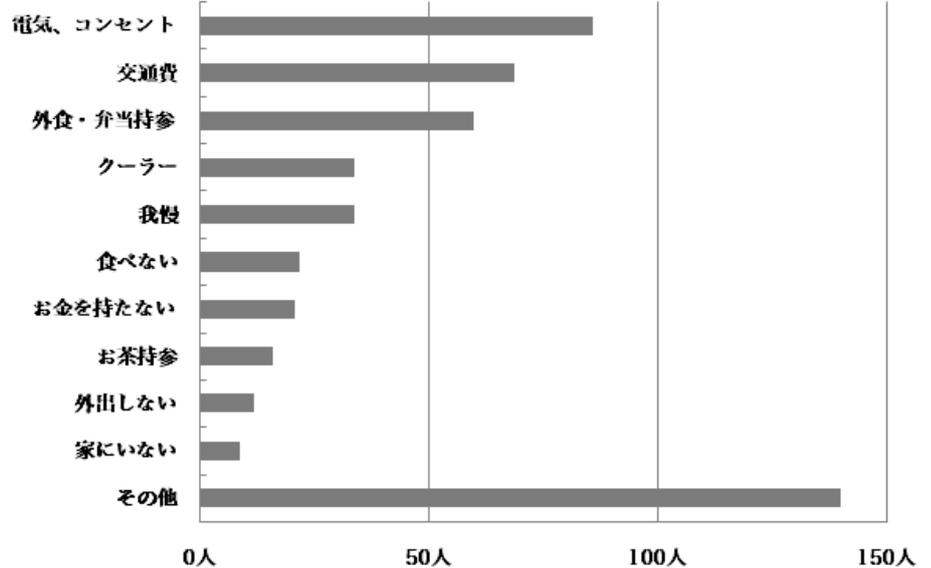


問7. あなたの節約術をお答え下さい。

節約術として最も多いのが、電気をこまめに消すこととコンセントをこまめに抜くことであった。

ただ、携帯電話利用料を抑える学生は少ないことから、携帯電話の充電に関しては、ここには含まれない可能性が考えられる。

	人数(人)
電気、コンセント	86
交通費	69
外食・弁当持参	60
クーラー	34
我慢	34
食べない	22
お金を持たない	21
お茶持参	16
外出しない	12
家にいない	9
その他	140



意識調査の概要や結果など、更に詳しい情報は、本日よりドットジェイピーオフィシャルホームページ (<http://www.dot-jp.or.jp/>) 内の**発表資料** (<http://www.dot-jp.or.jp/archives/index.html>) にて掲載致しますのでどうぞご覧下さい。そして、来月10月は『**アメリカ大統領選挙に関する意識調査**』を実施予定ですので、そちらも是非ご期待下さい。

NPO 法人ドットジェイピー <http://www.dot-jp.or.jp>
 本部 東京都港区、理事長 佐藤大吾、1998年設立。
 全国8支部と千葉茨城に1つの支部設立準備室を置き、大学生約200人が中心となって「若年投票率の向上」を目的に活動するNPO法人。

学生を対象に議員事務所や官公庁にて、政策立案過程や行政について就業体験を積む「インターンシッププログラム」を提供する。このプログラムは春期(2月~3月)と夏期(8月~9月)の年2回開催しており、これまでにのべ3082の議員事務所と7550名の学生が参加。2008年春に行われたプログラムでは310名の議員・首長と822名の大学生が参加した。また、ヤフー株式会社が運営する「Yahoo! みんなの政治」(<http://seiji.yahoo.co.jp/>) への議員・議案情報提供や、週刊コミックバンチ(新潮社)誌上での漫画「タネダミキオでございます」連載など、活動は多岐に及ぶ。(以上、2008年9月時点)

お問い合わせ
 本部所在地: 〒106-0032 東京都港区六本木7-21-7 ウエスタ六本木2F
 電話&FAX: 0120-098-214 MAIL: info@dot-jp.or.jp

